授業科目	学校栄養指導論Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	浜谷　小百合						
授業概要	実務家教員として、栄養教諭の実務経験を有した教員が学校現場での実践経験を生かした授業を行う。子どもたちに対する食育は、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものであり、学校の食育推進において栄養教諭の果たすべき役割は大きい。本科目では、栄養教諭の役割と職務、児童生徒の発達段階や食生活の実態を踏まえた計画的な食に関する指導の進め方、学校給食の目的と役割、教職員や地域・家庭と連携した食育の推進等について実務の事例をふまえながら解説する。						
授業形態	講義、演習			授業方法	グループワーク、プレゼンテーション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．児童生徒を取り巻く食生活の現状から問題点を把握し、取り組むべき課題について説明できる。(DP2-1,DP3-1) ２．栄養教諭制度の創設と栄養教諭の役割について、また関連する法律等について説明できる。(DP1-1,DP4-1) ３．学習指導要領を踏まえた食に関する指導及び生きた教材として活用する学校給食の充実について理解できる。(DP1-2,DP4-1) ４．食の問題を抱える児童生徒への個別的な相談指導の在り方について理解できる。(DP1-2,DP2-1) ５．食育の推進において、家庭や地域との連携を図ることの重要性を説明できる。(DP2-1,DP4-2)
理想的レベル	標準的レベル１～５の全てを達成したうえで、自ら積極的に食に関する指導を展開し、評価及び改善にまでつなげることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	20%	授業で使用するワークシート、課題（授業中に内容を指示）、食に関する指導教材（各自作成）
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT34109J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習：該当部分についてテキストを読む。演習課題がある場合は、事前の準備を十分に行う。 復習：該当部分について復習し、要点をまとめる。	4

授業計画	
第１回	テーマ：栄養教諭の制度と役割

第 2 回	テーマ：学校組織と栄養教諭の位置づけ
第 3 回	テーマ：学校給食の食事内容の推移
第 4 回	テーマ：学習指導要領と食育のあり方
第 5 回	テーマ：食に関する指導の手引の概要について
第 6 回	テーマ：食に関する指導の全体計画の必要性と内容
第 7 回	テーマ：食に関する指導の全体計画の作成手順
第 8 回	テーマ：給食の時間における食に関する指導
第 9 回	テーマ：学習指導要領における各教科等の目標と食に関する指導（家庭、技術・家庭）
第 10 回	テーマ：学習指導要領における各教科等の目標と食に関する指導（社会、理科、特別活動）
第 11 回	テーマ：学習指導要領における各教科等の目標と食に関する指導（体育、保健体育）
第 12 回	テーマ：個別的な相談指導の進め方
第 13 回	テーマ：家庭・地域社会との連携の進め方
第 14 回	テーマ：食に関する指導の模擬授業（ICT を活用した給食の時間の指導）の発表・協議
第 15 回	テーマ：学校栄養指導論Ⅰのまとめ
テキスト	金田雅代　編著：「四訂栄養教諭―理論と実際―第 2 版」（建帛社） 「食に関する指導の手引―第二次改訂版ー」（文部科学省）（健学社）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月公示）」（文部科学省） 小学生用食育教材「楽しい食事・つながる食育」（文部科学省） 中学生用食育教材「「食」の探求と社会への比広がり」（文部科学省）
課題に対するフィードバックの方法	定期試験については評価後、全体へのコメントを行います。課題等についてはコメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	本科目は、栄養教諭の職務内容や学校における食に関する指導の実際を学ぶ大切な科目となります。既習の教職関連科目についてしっかりと理解しておきましょう。栄養教諭の基礎資格は、栄養士及び管理栄養士であることから、栄養教育論、給食経営管理論、食品衛生学、調理学、応用栄養学等の専門科目で学んだ知識も合わせて実践的な学びへと発展させていくことが大切です。日頃から、子どもたちの食生活の現状や問題について関心を持つように心がけ、栄養教諭として実際に働くイメージを持って積極的に臨んで下さい。